

雨竜町CS（コミュニティ・スクール）だより

故郷（ふるさと）

発行 雨竜町立学校 学校運営協議会

令和5年（2023年）11月30日発行 令和5年度NO.4



「地域とともにある学校」づくりをめざし特色ある教育活動について紹介します。

「書 de 交流プロジェクト」（小・中学校）

教育大岩見沢校の准教授と書道研究室の学生5名を迎えて、書道の特設授業を小学校3～6年と中学校1～3年で実施しました。

准教授は雨竜町出身の書道家である故辻井京雲さんに師事しており、その縁で「書 de 交流プロジェクト」を開催しています。

授業の初めには、中国の歴史書を紐解きながら漢字の成り立ちを説明され、筆の運び方や書体のバランスなどを詳しく教えてくれました。また、大学生が個別に指導にあたり、お手本を書いたり、良いところをたくさん褒めたりして、児童生徒のやる気を大いに伸ばしてくれました。普段はあまり使わない大きな筆を握り、自信に満ち溢れた作品を仕上げることができました。児童生徒の作品は「北海道学生書道展覧会」に出品することになっています。



「雨竜町保育園との交流」（小学5年生・中学1年生）



11月8日（水）に保育園年長児（きりん組）の園児たちが小学校を訪れ、5年生と仲良く給食交流をしました。今の5年生はきりん組の園児たちが入学してくると、新6年生と新1年生という関係になります。新リーダーとして活躍した5年生。小学校のことを少し覚えることのできたきりん組。よい関係を結ぶ素敵な時間となりました。

また、中学校では7日（火）に1年生が保育園を訪問して、園児たちと一緒に体を動かし活動しました。園内では保育士の方から指導を受けながらレクリエーションを行い、笑みがあふれる楽しい時間を過ごしました。11月28日（火）には2回目の訪問を予定していて、中学生が園児に楽しんでもらえる遊びを準備中です。さらに交流が深まることを期待しています。



「消費者教育」（中学3年生）

雨竜町立学校・学校運営協議会の委員である司法・行政書士のさんが講師となり、中学3年生を対象とした「消費者教育」の特設授業を行いました。民法改正に伴い令和4年より、成人年齢が18歳に引き下げられ、今まで以上に正しい知識を得て、賢い消費者になることが求められています。さんからは仕事上の経験から得られた事例などを交え、だまされたり、惑わされたりしないよう、対処の仕方について多くのことを教わりました。

